

「RRS 起動までの時間と院内死亡の関連」の実施について

山口県立総合医療センター看護部では、臨床研究倫理審査委員会の承認を受けて、院長の許可のもとで下記の研究を実施しております。内容を確認いただき、研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は研究の対象といたしませんので、2026 年 11 月 6 日までにご連絡下さい。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

研究責任者：池田 美智子

- 研究の意義と目的

当院では、「院内迅速対応システム（Rapid Response System：RRS）」を運用しています。これは、入院中の患者さんの状態が悪化した際に、専門のスタッフが早く対応することで、重症化を防ぐための仕組みです。この研究では、患者さんの状態が悪化してから院内迅速対応システム（RRS）が起動されるまでの時間と、退院時の状態（生存退院・死亡退院）との関連を調べます。今後、より早く患者さんの変化に気づき、適切な対応につなげることを目的としています。

- 対象となる患者様

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の期間に、当院に入院され、RRS が起動となった急変対応を受けた患者様です。

- 研究実施許可日

院長の研究実施許可後 から 2028 年 3 月 31 日までを予定しています。

- 研究で使用する情報について

この研究では、診療録（カルテ）に記載されている情報を使用します。

使用する情報は以下になります。

年齢、性別、入院主病名、入院の種類（救急 or 外来）、呼吸数、SpO₂、酸素使用の有無、体温、収縮期血圧（sBP）、心拍数、意識レベル、RRS 起動の日時・理由、状態悪化から起動までの時間、退院転機（生存退院 or 死亡退院）

なお、「状態悪化」とは、カルテ上で呼吸・脈拍・血圧などの変化が、院内迅速対応システム（RRS）の起動基準に該当した時点を指します。

- 個人情報の取り扱いについて

研究に使用する情報からは、氏名や患者番号など、個人を特定できる情報を削除します。研究用の番号に置き換えたうえでデータを管理し、個人が特定されないよう十分に配慮します。

- 研究結果の公表について

この研究結果は、学会発表や論文などで公表する場合があります。ただし、公表の際に患者さん個人が特定されることはありません。

- 問い合わせ窓口

この研究にご質問がありましたら下記までお問い合わせください。

山口県立総合医療センター

研究責任者 看護副部長 池田美智子

研究分担者 副院長 池田安宏

電話 0835-22-4411（代表） FAX:0835-38-2210